

アメリカの残虐史(その①)

これから数回にわたりアメリカの残虐な歴史について、私達が余り知っていないことを書きたいと思う。これを通して、今のトランプ政権、そしてなぜ安倍がトランプのボチになっているのかがよくわかると思う。更に私達がこれから何を目指せばよいのかも少しは理解できると思う。

アメリカは1492年に奴隷商人のコロンブスがスペイン女王の承諾を受け航海に出てアメリカ大陸を発見し、侵略し先住民(イン

ディアンの)の虐殺を始めた。このコロンブスの上陸を記念する「コロンブス・デー(10月第2月曜日)」は今でもインディアン虐殺の象徴日として、全米でインディアンの抗議活動の日でもある。

18世紀になるとアメリカは、この移民の現地人(アメリカ人)が英国の囚人たちの流刑地としてアメリカを利用していったことへの英国への反発として、ジョージ・ワシントンを総司令官としてアメリカ独立戦争を戦った。そして、1789年移民たちが勝利し、ジョージ・ワシントンが初代大統領に就任した。

19世紀になるとモンロー主義時代となり『アメリカ大陸は合衆国の縄張りである』というアメリカと欧州の相互不干渉を唱える「モンロー宣言」を発表し、先住民(インディアン)掃討に専念する時代となった。

1830年ジャクソン大統領(7代目)は「インディアンは白人と共存しない野蛮人で劣等民族であるインディアンは滅ぼされるべきである」と議会で演説した。これに対しインディアンも抵抗を示し、チェロキー一族等が戦うも敗れ、インディアンは徒歩で大陸横断をさせられ、老婆に重い荷物を背負わせ歩かせたので「涙の道」といわれた。同時に産業革命を迎え、アメリカは資本主義社会となった。

アメリカは欧州から移民によって、先住民のインディアンを滅してスタートした移民国家なのである。今回は南北戦争と第一次世界大戦に至るアメリカを書いてみようと思う。



精神科^{きしと}
瀬戸 睿

心の悩みエトセトラ

第34話

18世紀になるとアメリカは、この移民の現地人(アメリカ人)が英国の囚人たちの流刑地としてアメリカを利用していったことへの英国への反発として、ジョージ・ワシントンを総司令官としてアメリカ独立戦争を戦った。そして、1789年移民たちが勝利し、ジョージ・ワシントンが初代大統領に就任した。

1830年ジャクソン大統領(7代目)は「インディアンは白人と共存しない野蛮人で劣等民族であるインディアンは滅ぼされるべきである」と議会で演説した。これに対しインディアンも抵抗を示し、チェロキー一族等が戦うも敗れ、インディアンは徒歩で大陸横断をさせられ、老婆に重い荷物を背負わせ歩かせたので「涙の道」といわれた。同時に産業革命を迎え、アメリカは資本主義社会となった。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア
越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151